

平成26年8月

『現地の人達とのふれあいで学んだこと』

私は1年3か月の間、メル校でお世話になりました。中学校1年生の3学期からG7に転入し、G8の1年間をメル校で勉強することが出来ました。その中で、私の大きな経験になったものは現地の方々とのふれあいでした。

1年を通して現地の方々とのふれあうイベントが幾つかあります。年2回行われる日本の文化を紹介するイベント・年に1度あるメル校デーのイベントです。それと、現地の生徒との交流も年に3回程ありました。私達の日本文化を紹介したり、現地の学校に出向いて幼稚園児に日本語を教えたり、逆に現地の文化を教えてもらったりもしました。なかなか出来ない貴重な体験で、日本文化の良さに気づかせてもらえました。現地の方々から『教えてくれてありがとう。日本に行ってみたいな!』と言ってもらえた時は、とても嬉しかったです。

私はメル校で日本の勉強に真剣に取り組むことが出来るから、放課後や休日には現地のことを学ぼうとお稽古もしていました。ユダヤ人の先生から習うアート教室、ロシア人の先生から習うピアノのレッスン、熊本県出身の先生から教えてもらう『和太鼓りんどう教室』に通っていました。アート教室での第1回目のレッスンでは、人間の臓器を油絵で描きました。みんなそれぞれ描きたい臓器の写真を選びデッサンしました。最初は驚きましたが、日本のアート教室とは違った体験が出来てとても楽しかったです。ピアノ教室では、世界の歴史と名画を結び付けて音楽を学ぶことを教えてもらいました。その時代に描かれた絵画を見て、曲のイメージを広げながら練習をしました。和太鼓教室では、日本文化の大切さをより一層感じる事が出来ました。『和太鼓りんどう』にいた生徒は様々な文化をもつ人がいました。もちろん日本人の方もいましたが、約130人の生徒のほとんどが日本以外の国の方でした。でも、私達が初めて教室を訪れた時、みんな温かく迎えてくれました。そして、日本の話を沢山質問してくれて、私達の話も真剣に聞いてくださいました。年末に2日間続けて行われるコンサートのために、泊まり込みでみんな合宿をしたこともとても良い思い出となっています。その中で数々のパフォーマンスに出させてもらったことが私の大きな宝物になりました。短い期間でしたが、日本にいる頃から習っていた和太鼓の経験を活かして少しでも日本文化を紹介することに参加出来たことを今も嬉しく思います。『和太鼓りんどう』のメンバーの方々はとても優しく、笑顔で誇りを持って日本文化を紹介するというパフォーマンスのちからを私達に教えてくれました。その教えてもらったことを忘れず、今、小さい時から所属している和太鼓サークルに戻り自信を持ってパフォーマンスすることが出来ています。

日本人学校での授業でしっかり日本の勉強をしていたおかげで、放課後や休日には現地の方々との触れ合う時間を作ることが出来ました。そして、日本の文化を紹介する機会にも多く出会えたことに感謝しています。今は逆に、日本でMelbourneの文化を少しでも紹介出来たらと現地で学んだことを周りの人達に伝えています。将来、この経験を活かして多くの人にそれぞれの文化の良さを伝えることが出来ればと思っています。